

- 3-4     トラック割を考えて下さい。使用できるトラック数のなかでDr. に何トラックが必要かステレオ録音が必要か（モノラル録音しても、ミックスダウン時にディレイやリバーブ等で疑似ステレオ化が可能）Vo. やCho. に何トラック必要かを考え無駄のないよう、また、後からトラックが足りなくならないよう注意して下さい。

最後に [ 直前の準備とチェック ] です。レコーディングは、1分1秒がいくらですから遅刻なんてもってのほか、次のようなことに関してもチェックしておくことによりトラブルの回避セッティングの迅速化が可能です。全ての関係者に迷惑がかかり、料金にも関係しますので注意して下さい。

#### 4-1 楽器のチェックについて

トラブルはないか、ノイズ等が出ていないかは要チェックです。エフェクターや電池予備の弦、シールド等は見落としがちですので注意して下さい。またピックやスティックなども忘れずにお持ち下さい。

#### 4-2 譜面の準備について

当日の進行上必要です。それ程細かい必要はありませんが、主にエンジニア用として曲の構成、進行が分かる程度のものと、歌詞を用意して下さい。

#### 4-3 持ち帰り用のテープ等について

マルチ録音用のDATテープは持ち込みできません。その他のカセットテープ、MD、DATテープ等は持参しても結構ですが、なるべく高性能のものをご用意下さい。

（注.）体調には十分注意しましょう。特にVo. は、まともに影響がでます。後から後悔しても遅いですから、レコーディングには万全の状態で臨みましょう。